

会員ひろば

題字 長塩三枝子

徒たちと一緒に行動し、会話できたことも収穫だった」との発言は、元定時制の教員としてうれしかった。

(東京都 胡口 靖夫)

☆教員時代、どのような体験をされたのでしょうか。生徒達の様子はいかがでしたか。

◆桐工の記事も、エイムズ先生のゼミの話も、放射能の話も面白かったです。が私のイチオシは、今回は「部会の活動」です。教科書展示会、面白そうですね。私も今度行ってみたいと思います。

それにしても…ストレスチェックもしないで運転再開する原発も出てくるなど、やはり日本がおかしいです。だいたい、一自治体の長が再開を承認して動かすなんて、変です。フォーラムの記事を読んで欲しいですね。

(館林市 戸澤 由美恵)

☆現行の教科書採択の仕組みでは、小中学校で

◆「すなっぷ」コーナーで、持続性のある高校

生のボランティア
ア・パワーに圧
倒されました。
また増山君の
「普段は交流の
ない定時制の生

は自治体首長などの独断で教科書が採択されてしまう危険が大きい。市民の監視が必要です。

◆「育ちと学び」9号の資料文献コーナー「福島・原発難民」ありがとございます。購入して一読しました。福島県内の歌人・詩人を数多く紹介しているのも参考になりました。このような叡智を政治の力にしていることを考えているところです。8/21付赤旗日曜版に瀬戸内寂聴氏がやわらかく政治を語っているのに励まされました。文献を紹介してくださった針谷順子様によくお伝え下さい。

(桐生市 佐藤 貞雄)

☆震災被害からの復興、原発問題はフォーラムの重要な課題です。

◆いくら考えても「わかんねー」ことだらけ。だからこそ、まちがいを怖れずに考え続けることだ。国や行政の専門家と言われる科学者を信頼しきれない。素人・アマチュアが発信を続けるしかない。

(前橋市 大貫 正雄)

☆それでも大貫さんたちの科学的知識には頼りたい。フォーラムをリードしてください。

◆フォーラムの記事で見て途中からスタジオイ楽書会に参加しています。前から書道を習い

たかったのでも楽しみでした。

楽書会は、とめ・はね・はらいなどはじめはおかまいなしに書かせます。紙面をどのように使うかや、墨の濃淡など、それぞれの個性を生かすようにして書くので、でき上がった作品は一人ひとり違ってみんな味わいがある。でも創造力の乏しい私には結構大変。

今取り組んでいるのは臨書。お手本に近くように書けばよいと思っていたのですが、一回目にして奥が深いんだと思い知らされました。作家により筆運びに特徴があつて、須田先生の指導がなければ多分同じようには書けない。臨書により一気に書の世界の広さを感じて次回が待ち遠しい。

こんな書の世界と一緒に学びませんか。

(吉岡町 長塩 三枝子)

☆顔真卿の書法は蚕頭燕尾。筆遣いは魔法のようでしたね。
(敬称略)



美ら海のウミガメ
(撮影：長谷川陽子)